特定非営利活動法人中部プロボノセンター

令和4年度事業報告書

（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

1　事業実施の概略

特定非営利活動法人中部プロボノセンターは、企業人の持つ知識・技能・経験を適切に提供することにより、名古屋市を始めとする中部地方の非営利活動団体の事業活動をいっそう向上させることを目的とし次の事業を実施した。

（1）定款第5条1項プロボノメンバー育成研修事業として、第10期プロボノメンバー育成研修
（2）2項のパッケージプログラム事業（第9期生）
（3）4項の人材及び情報等の交流、連携協力に関する事業として、プロボノバンク事業
　「10周年記念プロボノフェス」開催、「アラカルトプロボノ支援」
（4）1・2項に関する事業として、大同メタル工業株式会社委託事業「第3回大同メタルプロボノプログラム」受託
（5）6項の教育及び啓発に関する事業として、愛知県委託事業「持続可能な社会の創りて育成事業」と
　半田市委託事業「若者市民協働意識醸成事業」を受託

2　特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項　＊表内の(新)は新たな活動

(1)10期プロボノメンバー育成研修事業

具体的な事業内容	実施時期・場所・人数	事業費（千円）
非営利活動団体の現状及び活動状況の理解を深め又支援ノウハウの習得を図るために、市民活動家、大学教授、企業幹部等有識者を講師に招き、プロボノメンバーのレベル向上を図る研修 ・進行はプロボノ企画メンバー(研修生OB)が担当 ・研修の1コマをプロボノOBが担当 《研修月日及び講師一覧》	◇実施時期と講師は、下表参照 ◇人数：1社4名 住友理工㈱　：4名 ※zoomを併用して実施	70

時間割　：午前　9:30～12:30　　午後　13:30～16:30
場　所　：★日本陶磁器センタービル・・第3会議室(12/17)、多目的ホール　(2/18,3/4)
　　◇ウインクあいち・・1107会議室(1/14)　、1005会議室(1/28)

開催日		講義No.	講義テーマ	時間(分)	講師
第1回 12/17 (土) ★	午前	1	メンバーのバックグラウンド共有、今なぜプロボノなのか	90	NPO法人中部プロボノセンター　戸成 共同代表理事
		2	SDGsの歴史的意義と企業経営に及ぼす影響、今求められるプロボノ	90	一般社団法人中部SDGs推進センター 戸成 代表理事
	午後	3	市民がともに生きる社会	90	愛知淑徳大学　ブイ 名誉教授
		4	NPOの基本　-社会t的役割と現状-	90	NPO法人ボランタリーネイバーズ　遠山　事務局長
第2回 1/14 (土) ◇	午前	5	社会企業の育成	90	一般社団法人アスバシ　毛受 代表理事
		6	地域福祉とボランティア活動	90	NPO法人地域福祉サポートちた　市野 代表理事
	午後	7	活動報告（9期）	180	2団体支援の発表と質疑応答、交流
第3回 1/28 (土) ◇	午前	8	地域経済の活性化 愛知県の取り組み	90	愛知県都市・交通局　金田 局長
		9	Big Society の時代とNPOの役割 -NPOとプロボノのマッチングの可能性-	90	名城大学　昇 教授
	午後	10	広報戦略とは	90	電通中部支社シニア・コンサルタント　安藤氏
		11	プロボノ先輩枠	90	プロボノ先輩
第4回 2/18 (土) ★	午前	12	非営利団体のファンドレイジング　【演習】	180	日本ﾌｧﾝﾄﾞﾚｲｼﾞﾝｸﾞ協会東海ﾁｬﾌﾟﾀｰ 西村 共同代表
	午後	13	NPO支援プロボノのスキル研修　【演習】	180	NPO法人中部プロボノセンター　戸成 共同代表理事
第5回 3/4 (土) ★	午前	14	問題から課題変換とアクションプラン【演習】	180	NPO法人中部プロボノセンター　戸成 共同代表理事
	午後	15	企業の持続的成長とCSR	180	NPO法人中部プロボノセンター　岩原 共同代表理事
		16	6か月のプロボノプロジェクトに向けて		

(2)非営利活動団体支援パッケージプログラム事業 ‥ 9期生

具体的な事業内容	実施時期・場所・人数	事業費（千円）
		20

社会課題の解決に向け、取り組んでいる非営利団体(NPO)の支援として、NPOを一般公募し、選定委員会にて2団体を選び、団体が希望するテーマを9期のプロボノメンバーが支援する。

◇キックオフミーティング
選定された下記NPOとプロボノとのチーム分け後の顔合わせ、テーマ選定、ゴール設定を行った
各チームにアドバイザーが2名参加した
《支援先NPO》
・NPO法人ゆめはあと　（名古屋市）
・NPO法人とこっこ　　（碧南市）

◇中間報告会
課題を絞り込み今回の支援期間でやることを再確認
・NPOの問題を理解してキチンと課題をつかんでいるか
・課題に対して今回達成するゴールを設定しているか
・ゴールに向けてアクションプランを考えているのか
（アクションプランが多い場合は優先順位を決める）

◇最終報告会
各チーム毎に、今まで活動してきた成果と感想を発表する

チームメンバー（9期）	4名； 岡田(住友理工)、　川合(あずさ監査法人)、 花澤(サンゲツ)、　安田(デンソー)
支援先ＮＰＯ	NPO法人 ゆめはーと（名古屋市）
テーマ（課題）	ゆめはーとの知名度と信任の向上
ゴール	知名度や信任をあげるターゲットの具体化 ゆめはーとが実現したい世界観の整理、ツールの充実 継続的な働きかけが可能な仕組みの整備
チームメンバー（9期）	4名； 田幡（サンゲツ）、　長谷（デンソー） 中路（元デンソー）、　藤戸（住友理工）
支援先ＮＰＯ	NPO法人 とこっこ（常滑市） 徳田（絵美）、徳田（光）、長谷川
テーマ（課題）	とこっこの中期計画整理と可視化（ビジョン、活動計画、数値計画）
ゴール	今後のありたい姿、活動計画と数値計画をステークホルダーと共有しやすい形にまとめること。想定される課題と対策（案）の整理。

◇団体募集：令和4年4月中旬～5/23
◇選定委員会：オンライン(zoom)
・日時：令和4年6月12日(日)21:00-22:30
・選考委員：プロボノ企画メンバー8名、事務局3名
・応募団体数：4団体　→選定団体数：2団体

◇プロボノチーム分け

団体名	NPO法人ゆめはあと（名古屋市）		NPO法人とこっこ（碧南市）	
	氏　名	社名	氏　名	社名
プロボノ	岡田　将志	住友理工株式会社	藤戸　紀之	住友理工株式会社
	川合　康彦	あずさ監査法人	田幡　真一朗	株式会社サンゲツ
	花澤　みどり	株式会社サンゲツ	長谷 晋	株式会社デンソー
	安田　新	株式会社デンソー	中路 寛星	株式会社デンソー
アドバイザー	米本　理恵	村松　敏	内藤　壽久	横井　由香

※アドバイザーは先輩プロボノが担当
◇キックオフミーティング
・日時：令和4年7月2日(土)　※zoom有
・場所：ウインクあいち
・参加人数：19名
◇中間報告会　　※zoom有
・日時：令和4年9月18日(日)9：30～11：30
・場所：ウインクあいち
・参加人数：20名

◇最終報告会（10期の第2回研修時）※zoom有
・日時：令和5年1月14日(土) 13:30～16：00
・場所：ウインクあいち
・参加人数：9期8名、10期4名、企業7名(4企業)
NPO2団体5名、アドバイザー6名
事務局3名　　合計33名

※ 本年度の研修の特徴：全ての研修に可能な限りzoomを導入し、対面と両方で実施した

(3) プロボノバンク事業 ‥設立10周年記念フェス開催

具体的な事業内容	実施時期・場所・人数	事業費（千円）
		250

①第6回(設立10周年記念)プロボノフェス開催
◇特別講演会
講師：宗次　徳二氏(カレーハウスcoco壱番屋創業者)
演題：「宗次流　人生哲学」
～自分自身のこれからを見直すきっかけづくり～

◇交流会
・9年間の活動と歴史を振り返る(数字や映像)
・今まで支援してきた団体から活動報告(母力向上委員会)
・小グループにて10年後のプロボノ活動について話し合う

②プロボノバンク登録者数(名)＊下表参照)

コーディネート	業務改善	事業企画・戦略	組織拡大・広報	法務・契約	行政対応	情報システム	マーケティング	会計経理
27	38	23	10	1	5	3	15	8

③アラカルトプロボノ支援
・課題がハッキリとしているNPOに短期間で少人数で支援

①プロボノフェス
◇開催日時：令和4年5月7日(土)12:30～16：00
◇場所：ウインクあいち　小ホール
◇参加人数：64名
・来賓：伊藤　局長(愛知県県民文化局)
・NPO：　18名、プロボノ：23名
・企業、講師、一般応募、事務局他：23名
◇満足度：講演会‥4.2点/5点、交流会‥4.2点
②プロボノバンク　登録者数：44名（A8名）
10周年記念フェスの案内を機会に名簿整理

③アラカルトプロボノ支援
◇期間：9月～11月　(3か月)
◇対象：要望のあった2団体
1)みよしはたらく協議会(みよし市)
テーマ：HPのリニューアル・・・プロボノ3名
2)ファミリーアンサンブルおとのは(一宮市)
テーマ：団体メンバーの増員‥プロボノ3名

(4) 大同メタルプロボノプログラム事業

具体的な事業内容	実施時期・場所・人数	事業費（千円）
◇「第4回大同メタルプロボノプログラム」 地域社会の課題に取組んでいるNPO団体を資金面での助成と、社員がプロボノとして支援の企画、運営 ①支援先NPO募集→募集説明会：5ヶ所、オンライン （犬山市、小牧市、一宮市、関市、可児市） ※今年度から対象は愛知県は名古屋市以北とし、岐阜県中濃地区を追加募集範囲とする ②選考委員会は社内事務局を中心に開催→決定 ・応募団体数：4団体 ・決定団体：3団体 ・NPO元気ふれあい倶楽部　（一宮市） ・NPO親子支援寺子屋プロジェクトチーム（一宮市） ③キックオフ、プロボノ＆NPO合同研修 ・講師：戸成代表理事 ・研修内容：プロボノ入門 問題整理（3C分析・SWOT分析） 実践（各チームで問題整理） ④NPO団体支援プログラム プロボノ10名は2チームに分かれ団体を支援 団体の活動場所やネットを活用してミーティング実施 ・NPO元気ふれあい倶楽部 テーマ：ボランティスタッフの教育システムがない　他 ・NPO親子支援寺子屋プロジェクトチーム テーマ：広報活動の推進 ◇中間報告会 進捗状況の確認とNPOから助成金活用申請、 ◇最終報告会開催 各チーム毎に活動結果と感想を会社幹部の前で発表。プロボノの所属上司はオンラインにて参加。 ◇アンケートによる満足度調査　（4点満点） NPO団体；3.5点　　プロボノ；2.9点 ◇支援結果	◇実施期間：令和4年6月～令5年2月 ◇対象地区：愛知県尾張地区、岐阜県中濃地区 ①募集期間：6月～7月20日 説明会参加団体数：9団体(5か所、オンライン) 募集団体数：2団体 ②選考委員会 開催：9月1日（木）13:00～15:00 場所：オンライン 選考委員：6名 大同メタル工業㈱プロボノ推進部会　5名 中部プロボノセンター　戸成代表理事 ③キックオフ、プロボノ ＆ NPO 合同研修 ・開催日時:9月16日(金)14:00-16:30 ・研修場所：犬山事業所　ウイング21 ・参加人数：22名 社員プロボノ10名、アドバイザー4名 NPO団体　2団体、3名 事務局　5名（内大同メタル工業㈱3名） ④NPO団体支援プログラム ・期間：令和4年9月～令和5年2月 《参加プロボノ人数》 NPO元気ふれあい倶楽部チーム：5名 NPO親子支援寺子屋プロジェクトチーム：5名 ◇中間報告会 ・開催日時：11月15日(火)14:00～16:00 ・場　所　：犬山事業所　ウイング21 ・参加人数：19名 プロボノ13名、NPO2名 事務局4名 ◇最終報告会 ・開催日時：令和5年2月23日（木）9：30～11：30 ・場所：犬山事業所　ウィング21 1部オンライン ・参加人数：24名 大同メタル工業社長以下役員：4名 プロボノ：10名、アドバイザー：4名 NPO：2名、事務局：4名 ※所属上長はオンライン参加	638

支援先ＮＰＯ	NPO元気ふれあい倶楽部（一宮市）
テーマ（課題）	多岐にわたることから運営体制の見直し
ゴール	・主要メンバーの募集要項の作成 ・ボランティアの教育体制整備 ・ボランティアに対する意思・意見のヒアリング

支援先ＮＰＯ	NPO親子支援寺子屋プロジェクト（一宮市）
テーマ（課題）	就学前親子に対する支援活動の拡大
ゴール	・活動拡大のロードマップ企画・作成 ・広報活動（SNS、ホームページ）ができる環境づくり

(4) 愛知県「持続可能な社会の創り手育成事業」委託事業

具体的な事業内容	実施時期・場所・人数	事業費（千円）
		5,551

◇目的
社会課題の解決に取り組むNPOに対して、SDGsの普及促進を図ることにより、NPOの活動の可能性を広げる。また、NPOと、SDGsに取り組む企業や大学等との協働を促進することで、多様な主体が社会全体で地域活動を支えていく、持続可能な社会の創り手の育成へとつなげていく。

◇内容
①SDGsセミナーを名古屋会場、豊橋会場にて開催
※事前にチラシで参加者募集、当日はオンライン配信
・「SDGsを羅針盤に社会の持続可能戦略を考えると題し、未来から選ばれるNPOになるために、 今何をすべきかを講義
・協賛団体と学校が事例発表
・事例発表者と参加NPOとの交流会

②NPOアワードに参加するNPOの選考委員会
委員は事前に資料にて基準に合わせて審査し、全員の総意で応募21団体から10団体を選定

③NPOアワードに向けてプレゼン研修を実施
・集合研修：選定10団体と選外の希望団体を対象にファンドレイジングの意義やプレゼンスキル、効果的な資料作成方法をオンラインにて講義
・個別プレゼン研修：選定10団体対象（2回/団体）事前提出のプレゼン資料を添削し、実習指導

④NPOアワードを名古屋会場、豊橋会場にて開催
※事前にチラシで参加者募集、当日はオンライン配信
・選定された10団体（各会場5団体ずつ）がプレゼン
・プレゼンを聞き最も共感した団体に県民が投票
・協賛団体と学校が事例発表
・投票および審査員の審査結果にて寄附金決定
・NPOプレゼン発表者、事例発表者と県民との交流会

■名古屋会場の結果

	団体名	寄附金額
1位	NPO法人こまき市民活動ネットワーク	86,667円
2位	NPO法人オフィス・マハロ	63,333円
2位	NPO法人多文化共生サポートAdagio	63,333円
4位	NPO法人知多地域権利擁護支援センター	50,000円
5位	NPO法人おさんぽや	36,667円

■豊橋会場の結果

	団体名	寄附金額
1位	認定NPO法人アジア車いす交流センター	93,333円
2位	学校が苦手な子と親の居場所おこのみ会	73,334円
3位	NPO法人青ねこくらぶ	50,000円
4位	NPO法人地域福祉サポートちた	43,333円
5位	NPO法人クオーレ	40,000円

⑤NPOでの実地体験
NPOアワード各会場、1位の団体へ、県民の希望者が訪問し、NPOの活動を実地体験することで、社会参画・社会貢献について考える。

⑥結果報告書の作成および送付
上記実績をとりまとめ、参加者の声も載せた結果報告書を作成し、関係各部署へ送付

◇実施期間：令和4年6月～令和5年3月

①SDGsセミナー
講師：戸成　司朗代表理事
・8月6日（土）（名古屋会場：ウインクあいち）
参加46名（会場20名、オンライン26名）
・8月13日（土）（豊橋会場：em CAMPUS）
参加21名（台風のためオンラインのみ）

②選考委員会：9月7日（水）
選考委員：7名
（古澤　礼太氏、新海　洋子氏、山崎　恵美子氏、協賛団体2団体、愛知県、戸成　司朗代表理事）
場所：あいちNPO交流プラザ

③プレゼン研修
講師：戸成　司朗代表理事
別所　大介氏（プロボノスペシャリスト）
・集合研修：9月24日（土）（オンライン）
・個別研修：
10月27日(木)（刈谷市生涯学習センター）
10月28、29日（あいちNPO交流プラザ）
→フォロー：11月4、5、6日（オンライン）
参加団体：集合研修14団体
個別研修10団体

④NPOアワード
司会進行：原田さとみ氏
審査ファシリテーター：戸成司朗代表理事
・11月13日(日)（名古屋会場：名古屋国際センター別棟ホール）
参加54名（会場45名、オンライン9名）
・11月20日(日)（豊橋会場：em CAMPUS）
参加56名（会場40名、オンライン16名）
・審査員（名古屋会場）：泉川　雅子氏、古澤　礼太氏、協賛団体、愛知県の4名
・審査員（豊橋会場）：遠藤　和重氏、協賛団体、学校、愛知県の4名
・協賛金：60万円（30万円×2団体）
協賛団体：東海労働金庫、株式会社サーラコーポレーション
事例発表：名古屋国際中学校・高等学校の生徒が各会場2名で発表

⑤実地体験
・認定NPO法人アジア車いす交流センター
開催日：1月26日（木）　参加者：3名
活動内容：車いすの清掃・修理
・NPO法人こまき市民活動ネットワーク
開催日：2月11日（土）　参加者：6名
活動内容：子どものまち実行委員会参加

⑥結果報告書
表紙、裏表紙含め全32ページの冊子を600部作成

(4) 半田市「若者市民協働意識醸成事業」委託事業

具体的な事業内容	実施時期・場所・人数	事業費（千円）
		433 ※ 協賛金： 1企業 3万円

◇目的
次世代を担う若者世代（高校生）を対象に、市民活動の実態や活動支援の方法を理解してもらい、市民協働や社会貢献への参加につながるよう、協働意識の醸成を図ること

①参加NPO募集→募集説明会：《募集団体数　3団体》
半田市市民交流センターを通して、NPOにチラシを配布し、参加を呼び掛けた

②選考は選考委員会を開催し決定
・決定団体；3団体
・ハンダーFOX製作委員会
・雁宿小学校避難所運営委員会
・NPO法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク

③ファンドレイジング、プレゼンテーション全体研修

	内容	講師
1	共感するプレゼンテーション 「伝える」から「伝わる」資料づくり	別所 大介氏 （NPO法人中部プロボノセンター）
2	ファンドレイジングとは 事例紹介、自団体の整理	山崎 恵美子氏 （日本ファンドレイジング協会東海チャプター）

④プレゼン個別研修
１団体ごとに、全体研修でのプレゼンテーション資料作成のレクチャーに従い、それぞれが作成した資料を基に実施。

⑤「学！コラボ2022」開催
2回　（1回：50分）に分けて実施
〇1回目
・社会課題に取り組むNPOや市民協働について講義
・参加NPOによる活動内容についてプレゼンテーション
・生徒によるグループ討議
・各自で共感し、応援したいNPOに投票
〇2回目
・投票結果報告（投票数、協賛金）
・協賛金贈呈（NPO3団体：目録贈呈、記念撮影）
・NPOからお礼のことば
・協賛団体からのメッセージ
・生徒による選定理由の発表（代表）
・NPOと生徒の意見交換（投票先NPOと投票した生徒）

⑥投票結果

団体名	投票数	協賛金額
NPO法人子どもたちの生きる力をのばすネットワーク	24票	30,600円
雁宿小学校避難所運営委員会	18票	23,000円
ハンダーFOX製作委員会	5票	6,400円
合計	47票	60,000円

⑦アンケート実施（生徒、学校、NPO）
・生徒、学校、NPOとも満足度は高く、地域で活動する団体を知る機会となった。
団体の活動を実体験することに結びつけられた

◇実施期間：令和4年7月～令5年2月
◇対象高校：愛知県立半田商業高等学校

①NPO募集期間7月～8月25日
・説明会日時：8月19日（金）
①15：00　　②18：30
・説明会参加団体数：5団体
・応募団体数：4団体

②選考委員会月日：月26日（火）
場所：半田市市民交流センター
選考委員：3名
山崎恵美子氏、別所大介氏、
半田市企画部より1名

③ファンドレイジング、プレゼンテーション全体研修
・開催日時:9月21日(水)15:00-17:00
・研修場所：オンライン(zoom)
・参加人数：3名(3団体)

④プレゼン個別研修
・開催日時：10月1日（土）9：30～12：25
・開催場所：半田市市民交流センター
・講師；別所大介氏
（中部プロボノセンタースペシャリスト）
・参加団体：3団体　3名

⑤「学！コラボ2022」開催
・学校名：愛知県立半田商業高等学校
・参加者：総合ビジネス科　2年生　48名
〇1回目
日時：10月25日(火) 13:30～14:20
場所：愛知県立半田商業高等学校 武道場

【NPOからプレゼン】

【グループ討議】

〇2回目
日時：11月2日(水) 13:30～14:20
場所：愛知県立半田商業高等学校 武道場
協賛団体：株式会社三菱UFJ銀行半田支店
八洲建設株式会社
協賛金:6万円

【NPOに目録贈呈】

【投票先NPOと意見交換】

3　会議の開催に関する事項

（1）通常総会

①開催日時及び場所

令和4年6月25日(土)10:00～11:30

名古屋国際ｾﾝﾀｰ　第6会議室

②議題

ア　令和3年度事業報告

イ　令和3年度決算報告、監査報告

ウ　令和4年度計画

エ　令和4年度活動予算

オ　理事増員の件

カ　その他　今後を見据えた活動について

（2）理事会　※新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンラインにて実施

① 第1回

・日時：令和5年5月22日(月)　　18:30～19:30

・議題：令和4年度の活動報告、令和4年度会計報告

令和5年度の活動計画、令和5年度活動予算、今後の活動について

4. その他報告事項

（1）プロボノ企画委員会開催　　＊日曜　21:00～オンライン

・企画委員：12名、事務局

・開催頻度：月に1回～2回　程度　＊テーマ内容によって開催日を決めた

・議題：　9期生のNPO支援プログラムのサポートについて

10期生の育成研修のサポートについて

中部プロボノセンター10周年記念プロボノフェス開催（令和4年5/7)に向けてて企画運営

中部プロボノセンターの今後の活動施策について

（2）「プロボノフェス10周年記念開催」について

・令和4年2月～5月まで、プロボノ企画メンバーを中心に実行委員会を設置

・「プロボノフェス当日運営企画」「10周年歴史を振り返る」「プロボノ活動の未来を考える」

でチームを編成し、具体的な活動をプロボノ主体で行った

→10年の歴史年表作成、今後10年のロードマップ作製

・「プロボノ活動の未来について」は継続して次年度も活動する

以上